

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月23日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社カインズ

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 黒谷理

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成24年8月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,389	14.5	63	13.2	54	△2.8	32	4.8
24年3月期第1四半期	1,214	7.2	56	5.3	55	6.1	30	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	7.27	—
24年3月期第1四半期	6.94	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,012	2,777	46.2
24年3月期	5,776	2,781	48.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,777百万円 24年3月期 2,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0.00	—	7.50	7.50

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,560	12.6	92	24.9	89	26.2	50	39.4	11.23
通期	5,310	9.2	217	0.0	208	0.3	125	10.5	28.08

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	4,558,860 株	24年3月期	4,558,860 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	107,237 株	24年3月期	107,237 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	4,451,623 株	24年3月期1Q	4,452,717 株

(注)詳細は、添付資料P.2「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報	1
	(1) 経営成績に関する定性的情報	1
	(2) 財政状態に関する定性的情報	1
	(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2	サマリー情報 (注記事項) に関する事項	2
	(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
	(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3	継続企業の前提に関する重要事象等	2
4	四半期財務諸表	3
	(1) 四半期貸借対照表	3
	(2) 四半期損益計算書	4
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
	(4) 継続企業の前提に関する注記	6
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
	(6) セグメント情報等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期累計期間における我が国経済は、前事業年度から続く災害及び原油価格等の影響の下、国内企業の業績や個人消費は伸び悩み、雇用情勢なども足踏みの状態が続いております。

また、欧州における財政問題も、依然、予断を許さない状況にあり、今後も為替相場の変動をはじめとした各方面への影響が懸念される不透明な状況で推移しております。

このような状況の下、当第 1 四半期の業績につきましては、売上高は、1 3 億 8 千 9 百万円（前年同期比 1 4. 5% 増）となりました。検査分野別で見ると、生化学分野は、引き続き順調に推移し 4 億 7 百万円（前年同期比 7. 1% 増）となりました。また、免疫分野におきましては、前事業年度から販売を開始した輸血検査分野が順調に推移しており 8 億 7 千 9 百万円（前年同期比 1 1. 6% 増）となりました。その他の分野におきましても、機器関連等の伸びが貢献したことにより、1 億 3 百万円（前年同期比 1 2 4. 1% 増）となりました。

このような状況から、営業利益は、6 千 3 百万円（前年同期比 1 3. 2% 増）、経常利益は、5 千 4 百万円（前年同期比 2. 8% 減）となり、四半期純利益におきましては、3 千 2 百万円（前年同期比 4. 8% 増）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第 1 四半期累計期間 自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 6 月 30 日		当第 1 四半期累計期間 自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	357,848	29.5	382,880	27.5
	免疫血清学的検査用試薬	71,658	5.9	100,158	7.2
	そ の 他	40,469	3.3	97,007	7.0
	計	469,975	38.7	580,047	41.7
商 品	生化学的検査用試薬	22,854	1.9	24,900	1.8
	免疫血清学的検査用試薬	715,783	59.0	778,891	56.0
	そ の 他	5,544	0.5	6,108	0.4
	計	744,182	61.3	809,900	58.3
合 計	生化学的検査用試薬	380,702	31.4	407,781	29.3
	免疫血清学的検査用試薬	787,441	64.9	879,050	63.2
	そ の 他	46,013	3.8	103,116	7.4
	計	1,214,158	100.0	1,389,948	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期会計期間末における総資産の額は、6 0 億 1 千 2 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 億 3 千 6 百万円増加いたしました。流動資産は 2 6 億 1 千 4 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 億 4 千 8 百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金 1 億 3 千 4 百万円、受取手形及び売掛金 5 千 8 百万円、並びに商品及び製品 5 千万円がそれぞれ増加したことによります。固定資産は 3 3 億 9 千 8 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 千 2 百万円の減少となりました。その主な要因は、製造設備関係を中心とした取得 3 千 1 百万円があったものの、その一方で減価償却費 4 千万円を計上したことなどにより減少しております。

当第 1 四半期会計期間末における負債の額は、3 2 億 3 千 5 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 億 4 千 1 百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金 6 千 9 百万円、短期借入金 5 千 7 百万円、長期借入金 9 千 3 百万円及び流動負債その他 5 千 3 百万円それぞれ増加したことによります。

当第 1 四半期会計期間末における純資産の額は、2 7 億 7 千 7 百万円となり、前事業年度末と比べ 4 百万円の減少となりました。その主な要因は、四半期純利益 3 千 2 百万円を計上した一方で、配当金 3 千 3 百万円の支払いなどを行なったことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 1 四半期会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) の残高は 6 億 4 千 4 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 3 千 4 百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動は 3 千 6 百万円 (前年同期は 3 千 6 百万円の増加) の資金の増加となりました。その主な増加要因は、売上債権の増加 5 千 8 百万円、たな卸資産の増加 6 千 4 百万円、賞与引当金の減少 1 千 2 百万円及び法人税等の支払額 2 千 9 百万円などにより支出したものの、税引前四半期純利益 5 千 4 百万円、減価償却費 4 千百万円、仕入債務の増加 6 千 9 百万円などの計上によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動は 1 千 2 百万円 (前年同期は 3 百万円の支出) の資金の支出となりました。その主な支出要因は、有形固定資産の取得 1 千 3 百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動は 1 億 1 千 2 百万円 (前年同期は 4 百万円の支出) の資金の増加となりました。その主な増加要因は、長期借入金の返済 1 億 3 千 8 百万円、配当金の支払い 3 千 3 百万円の支出をしたものの、短期借入金 1 億 9 千万円及び長期借入金 1 億円をそれぞれ調達したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、災害による国内多業種への影響或いは欧州諸国の財政問題の影響等により、企業収益の回復及び雇用環境の改善については、依然、不透明な状況で推移するものと思われま。臨床検査業界におきましても、企業間競争の影響により経営環境は、ますます厳しさをましていくものと思われま。

第 2 四半期以降の業績につきましては、第 1 四半期に引き続き生化学分野をはじめとして順調に推移するものと予想しております。一方、インフルエンザ等の POC T 関連試薬については、流行に左右されやすく不透明な状況にあることから、平成 24 年 5 月 10 日付「平成 24 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」でお知らせしました第 2 四半期累計期間及び通期業績の予想は、変更しておりません。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更してあります。これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	749,736	884,508
受取手形及び売掛金	1,187,649	1,246,046
商品及び製品	188,818	239,223
仕掛品	53,975	49,732
原材料及び貯蔵品	118,652	137,453
その他	69,336	60,187
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,365,267	2,614,251
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	806,386	808,624
土地	1,851,453	1,851,453
その他（純額）	200,123	197,802
有形固定資産合計	2,857,962	2,857,880
無形固定資産	46,890	38,458
投資その他の資産	506,254	502,399
固定資産合計	3,411,106	3,398,738
資産合計	5,776,374	6,012,989
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	912,417	982,134
短期借入金	1,305,130	1,362,500
未払法人税等	36,183	20,324
賞与引当金	78,400	66,000
その他	236,766	290,134
流動負債合計	2,568,896	2,721,093
固定負債		
長期借入金	312,500	406,250
その他	113,345	108,519
固定負債合計	425,845	514,769
負債合計	2,994,742	3,235,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,101,097	1,100,094
自己株式	△90,278	△90,278
株主資本合計	2,770,965	2,769,963
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,666	7,164
評価・換算差額等合計	10,666	7,164
純資産合計	2,781,632	2,777,127
負債純資産合計	5,776,374	6,012,989

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,214,158	1,389,948
売上原価	822,610	931,984
売上総利益	391,547	457,963
販売費及び一般管理費	335,530	394,547
営業利益	56,017	63,416
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,751	2,671
為替差益	466	—
受取賃貸料	2,375	1,898
その他	1,551	1,595
営業外収益合計	8,144	6,166
営業外費用		
支払利息	6,124	5,384
手形売却損	183	258
為替差損	—	8,081
賃貸費用	961	598
その他	1,034	950
営業外費用合計	8,303	15,274
経常利益	55,857	54,308
特別損失		
固定資産売却損	54	—
固定資産除却損	—	182
特別損失合計	54	182
税引前四半期純利益	55,803	54,125
法人税、住民税及び事業税	3,000	15,541
法人税等調整額	21,900	6,200
法人税等合計	24,900	21,741
四半期純利益	30,903	32,384

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	55,803	54,125
減価償却費	34,499	40,087
売上債権の増減額 (△は増加)	91,212	△58,396
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,030	△64,963
仕入債務の増減額 (△は減少)	△28,891	69,398
その他	△63,078	26,166
小計	77,514	66,417
利息の支払額	△4,333	△3,746
法人税等の支払額	△39,947	△29,162
その他の収入	3,733	2,675
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,967	36,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,149	△13,133
有形固定資産の売却による収入	274	—
投資有価証券の売却による収入	500	—
その他	405	685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,970	△12,448
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	90,000	190,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△56,150	△138,880
配当金の支払額	△33,398	△33,397
その他	△4,526	△5,198
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,074	112,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△1,487
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28,919	134,771
現金及び現金同等物の期首残高	768,515	509,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	797,435	644,508

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (6) セグメント情報等
当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。